

令和4年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	嬉野市立 大野原小学校 大野原中学校 児童数 31 人	担当者名	児玉 美佳子
住所	郵便番号 8430304 嬉野市嬉野町岩屋川内丙 720 番地	電話番号	0954-43-0807

◆ご提出いただいた個人情報、本事業のためだけに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱については、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣 言	目 標	本から始める SDGs ～読んで、知って、かんがえる。あなたの未来わたしの未来～
	取組期間	令和4年 4月 12日 ～ 令和4年 11月 30日

※令和4年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和4年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評 価	取組人数	52 人	実施日数	140 日	読書冊数	3289 冊	連携した団体数	4 団体
	取組内容（概要）	<p>1. 継続している取組</p> <p>①読書ノートの活用 ②読書感想文・画の課題図書の推進 ③単元に合った図書の購入と授業での活用</p> <p>2. 宣言目標「本から始める SDGs」</p> <p>①SDGs コーナー ②SDGs 関連本への表示 ③SDGs 本おすすめ POP 作成</p> <p>3. 各機関との連携、交流</p> <p>①絵本作家との交流 ②月刊誌の活用 ③おはなしボランティア、図書館との連携</p>						
	工夫したこと	<p>1. 継続している取組</p> <p>①読書ノートの活用…県民環境部まなび課からの読書ノートを年2回（夏季・冬季休業）配布し、休業期間中の読書の記録として活用している。</p> <p>また、学年ごとの教科書掲載の図書のブックリスト読書ノートを作成しており、1年間の読書目標を明確にし、読書の感想の言語化の強化を図っている。</p> <p>②読書感想文・画課題図書の推進…課題図書は全図書購入している。複式学級の特性を利用し、各教室に配架している。担任・児童も課題図書をすぐに手にとることができ、楽しんで読書してもらうよう読書リストへのシール貼りなど読書の頑張りを目で見てわかるように工夫している。課題図書を選択した読書感想文・画への取り組みが増えている。</p> <p>③単元に合った図書の購入と授業での活用…タブレットと併用し、紙媒体の図書を活用した調べ学習の充実を図るため、単元に合った図書を積極的に購入した。廃版などで購入できない図書については、地域の図書館から借用するなどし、授業に図書を活用できる環境を整えた。</p> <p>2. 宣言目標「本から始める SDGs」</p> <p>本校では児童生徒会が中心となり SDGs への取組が行われている。SDGs に関心を持つ児童生徒が増え、SDGs の本の貸出しが増えた。</p>						

	<p>①SDGs コーナー…誰もがすぐに手に取って読めるよう、SDGs の本のみのコーナーを設けた。17 の国際目標について詳しく知りたいとの児童生徒の声があり 1 目標ごとに関連図書の掲示を行い、各週で掲示図書の変更を実施した。</p> <p>②SDGs 関連本への表示…関係する国際目標のシールを図書に貼り、国際目標の内容の明確化と SDGs への意識付けを図った。</p> <p>③SDGs 本おすすめ P O P 作成…中学生は、SDGs 本のおすすめ POP を作成した。小学生の作成した POP の中でも、SDGs に関する図書もあり、SDGs への関心の高さを感じた。P O P は校内掲示後、P O P コンテストへの応募を行った。</p> <p>3. 各機関との連携、交流</p> <p>①絵本作家との交流…ある縁から本校を知っていただいた絵本作家より、昨年に引き続き本の寄贈があった。寄贈いただいた本で児童生徒による読み語りを実施した。今回は校内放送を利用し、話の内容を区切り 1 週間をかけて 1 冊の読み語りをした。</p> <p>話の内容が気になり、早く続きを知りたいため図書室で本を読みにたくさんの児童生徒の来室があった。話の続きを想像して語り合う場面も見られ、とても楽しい 1 週間となった。</p> <p>今年は、本のお礼として、児童生徒のお礼の言葉を動画にして贈った。</p> <p>②月刊誌の活用…校長先生の知恵袋事業により、教科書に多く掲載されている月刊誌「たかさんのふしぎ」を購入している。また J A のご協力により月刊誌「ちゃぐりん」の寄贈をいただいている。両月刊誌ともに、児童生徒の関心が高く、貸出し冊数も多い。</p> <p>③おはなしボランティア、公共図書館との連携</p> <p>嬉野市内のボランティア団体に、月 1 回絵本の読み語りを実施してもらっており、今年度は人権に関する読み語りも実施された。</p> <p>うれしの図書館には、毎月、小学・中学校の各学年の希望に応じた配本をしてもらうことができた。また、「先生の思い出の本・好きな本」というテーマでは本校にない図書の貸出しを行ってもらい、充実した展示をすることができた。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>毎年継続して行っている取組にも改善や工夫を行い、継続して取り組めるような読書活動を心掛けた。先生方には、おすすめの本の紹介や P O P 作成に参加や、調べ学習の本を充実させ授業で活用してもらうことができた。児童生徒は、貸出しだけでなく休み時間の数分でも図書を手に取って読む姿が多く見られ、図書コーナーの設置場所、掲示や図書の紹介方法の工夫で読書への関心を引くことができることを実感できた。月ごとの掲示物への反応も多くあり、図書室への関心が高まった 1 年だった。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>昨年のスクール読書チャレンジでは、今後の取組予定として、「質のある読書」を目指しての取組を挙げた。読書ノート等を活用し、本の内容の読み取りや感想を言葉にする力を付けることができていると思う。</p> <p>今後の目標として、タブレットや電子媒体が普及しているなかでも、図書や図書室を利用した活動や学習に、図書室利用の推進や紙媒体の図書を利用する良さや重要性を伝えることができる取組をしていきたいと思う。</p>

取組内容

1. 継続している取組

①読書ノートの活用



佐賀県から配布の読書ノート

ブックリスト（教科書掲載の本）読書ノート

読書ノートへ読書の感想を記入すると担任等からのコメントやご褒美シールなどがもらえるようになっている。また、先生方による児童生徒への声掛け授業での活用などの働き掛けもあり、ブックリストの本の読書への取組が積極的にできていると感じる。

②読書感想文・画 課題図書への推進



複式学級の特徴を活かし、各教室に課題図書を配架し読んだらシール貼ってもらっている。各教室での配架終了後は、図書室に設置している課題図書コーナーで展示をしている。他学年の課題図書を読む児童生徒も多く、課題図書への関心が高いと感じる。図書にも課題図書であることがわかる表記をしているため、貸出しの際に「今日は〇年の課題図書を借りたよ」と話す場面も見られる。

③単元に合った図書の購入と授業での活用



小学校6年生、タブレットと図書を活用した調べ学習の様子。



小学校4年生、図書を活用した調べ学習とタブレットを活用した発表の様子。

2. 宣言目標「本から始める SDGs」

①SDGs コーナー



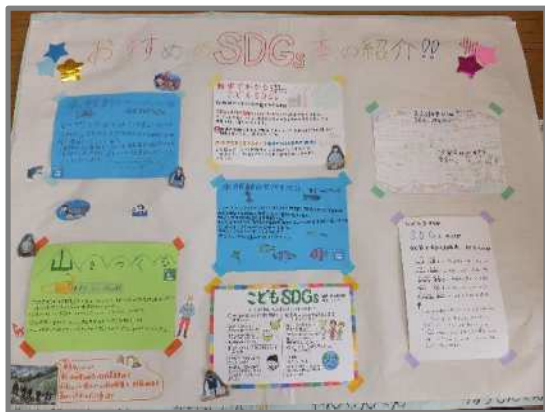
廊下に SDGs コーナーを設置した。移動教室や通行時にも、本を手にとって読んでいる姿があった。小学校低学年にも分かりやすい SDGs の絵本から社会や企業の取組まで様々な図書を掲示した。また、目標ごとに関連した図書も掲示し、各週で目標と関連図書を変更し、変化をもたせることで関心を高めさせた。

②SDGs 関連本への表示



17の国際目標に関連する図書に、該当する目標のシールを貼った。このことで図書と SDGs の関連付けができ、目標に対する具体的な理解と意識を持つことができた。

③SDGs 本おすすめ POP 作成



中学生が、おすすめ SDGs 本の POP 作成を実施。小学生のおすすめ本の POP 中にも SDGs 関連図書があった。どの作品もカラフルで個性豊かな POP であり、全作品を POP コンテストへ応募した。

3. 各機関との連携・交流

①絵本作家との交流



読書祭のイベントの中で、寄贈本の校内放送による読み語りを実施した。声だけに集中して行う読み語りのため、声の大きさ、間、セリフなどいろいろなことを工夫しながら練習をたくさん重ね、本番の放送に臨んでくれた。特に、男子中学生の読み語りへの反響が多く、女性の声での読み語りを聞くことが多い中、とても新鮮な感覚があり、「お父さんによる読み語りとかやってもらいたい」などの声があがった。今年は、絵本のお礼として感謝の気持ちを児童生徒の声で伝えるため、動画 DVD を作成し贈った。

②月刊誌の活用



「月刊たくさんのふしぎ」に対する関心が高く、小学生から大人まで幅広い年齢に貸出しがある。JA 月刊誌「ちゃぐりん」は、大野原の地域柄、お茶や野菜作りなどに興味のある児童生徒も多く、こちらも貸出しが多くある冊子である。

③おはなしボランティア、公共図書館との連携



おはなしボランティア



「先生の好きな本・思い出の本」展示

へき地であるにも関わらず、学校まで来校いただいたの読み語りは大変嬉しく、今回は人権に関する読み語りもあり大変よかった。

また、公共図書館からの配本により充実した図書環境を維持することができた。